

神奈川県あんしん賃貸支援事業 協力店 取組事例集



平成27年3月
神奈川県居住支援協議会

あんしん賃貸支援事業は、平成19年に施行された「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律（住宅セーフティネット法）」に基づいて、高齢者・障害者・外国人・子育て世帯の方々にお貸しできる賃貸住宅、協力不動産店、およびソフト面で居住支援に携わる行政や団体等の情報を登録し、住宅をお探しの方々に情報提供する事業です。

神奈川県では、平成23年度から、神奈川県居住支援協議会がホームページで登録情報を提供しています（URL <http://www.machikyo.or.jp/kyojyushien/bukken/>）。

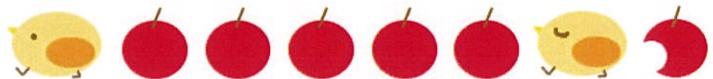
本紙は、本事業に登録しているいくつかの協力店の取組や受け入れの工夫についてまとめております。

住まい探しの際の参考にしていただければ幸いです。

平成27年3月 神奈川県居住支援協議会（居住支援部会）



目 次



◎入居者からも情報収集し、管理業務のノウハウとして活かす！

有限会社協和ホーム（横浜市港北区） 1

◎丁寧な対応で信頼をいただく！

有限会社寿不動産（川崎市川崎区） 2

◎入居者により臨機応変に対応

株式会社リバティホーム（相模原市中央区） 3

◎コミュニケーションが命！

有限会社リビングホーム（相模原市緑区） 4

◎地域の見守り見える化が必要！

ウスイホーム株式会社（横須賀市） 5

◎長年培ったオーナー・地域との身体関係でニーズにあった物件を

株式会社大雄（平塚市） 6

◎寄り添う姿勢でじっくりと対応

万力住販株式会社（小田原市） 7

◎センサーを活用して見守り！

有限会社MYJホーム（大和市） 8

◎生活支援のNPOと連携 空き家管理にも取り組む！

株式会社プライム（座間市） 9

・神奈川県居住支援協議会について



『入居者からも情報収集し、
管理業務のノウハウをして活かす！』

有限会社協和ホーム（横浜市港北区）
代表取締役 吉原 敦 さん

協力店情報

会社名：有限会社協和ホーム
代表者：代表取締役 吉原 敦
所在地：横浜市港北区菊菜6-1-4
電話：045-433-2371
登録年月：平成20年12月
URL：<http://www.kyowa-home.com/>



当社は、16年前に設立しましたが、前身の時代も含めると創業60年になる地元密着の不動産店です。先代からお世話になっているオーナーも多く、地域に根付いて営業をしています。

対象者の来店、問い合わせは、地元密着のため、地元の方からの紹介が多いですが、行政窓口や協力店情報（情報紙やHP）から来店する方も多くいらっしゃいます。

高齢者等の入居支援は、以前から特別扱いせず、自然体で受け入れていますが、近年は、お子様世代が地方に住む親御さんを近くに呼び寄せる相談が増えています。また、当社が立地する横浜市港北区や周辺の神奈川区周辺は、坂道が多く、賃貸から賃貸への住み替えの他に、持家に住む高齢の方から「平坦な場所へ」、「エレベータがある物件へ」転居を希望されるケースが多くなっており、賃貸住宅のご紹介だけでなく、今まで住んでいた住宅の売却や賃貸、リフォーム等の相談にもつながっています。

これまで、高齢者や外国人の入居を受け入れてきましたが、大きなトラブルは無く、逆に、高齢入居者から「緊急通報ブザーを付けたい」と要望を受けたことをきっかけに、今まで知らなかった緊急通報装置の情報を収集することができたりして、入居者から生活サポート情報や福祉制度の情報を教えてもらい、こちらが勉強させてもらっていることもあります。中には、手すりを付けたいという要介護認定を受けた高齢入居者の住戸に、介護保険の住宅改修費助成制度を活用して改修したことがあります。この時は、入居者にもオーナーにも感謝されたのを覚えています。

外国人の入居支援では、当社の物件に入居している外国籍の方は、日本人よりも日本人らしく（？）、日本人が大事にしてきた「思いやり」や「お互いさま」の精神をきちんと持った方が多いように思っています。いずれも、一般的に入居が敬遠されがちな本制度の対象入居者の皆さんには、お部屋もキレイにお使いになり、生活態度も良好だと実感しています。

オーナーの中には、高齢者の入居にまだ否定的な方もいらっしゃいますが、所属する宅建協会やあんしん賃貸支援事業等で得られる様々な情報だけでなく、今までのようないくつかの地域や入居者からも提供していただいた情報をこまめに提供して、バックアップできる情報を見せながら、少しでもマイナスイメージを無くし、前向きに検討いただけるよう努力を続けていきたいですね。



『丁寧な対応で信頼をいただく！』

有限会社寿不動産（川崎市川崎区）
代表取締役 加藤義治さん

協力店情報

会社名：有限会社寿不動産
代表者：代表取締役 加藤義治
所在地：川崎市川崎区藤崎4-16-5
電話：044-244-2033
登録年月：平成21年4月
URL：
<http://www.hatomarksite.com/search/kanagawa/agent/00071400388/>

当社は、先代から数えて47年。私が代表を引き継いで22年になります。地元密着で長年やっていますが、以前から高齢者等の受け入れは自然体で実施しています。地元で長年営業していますので、オーナーとも長いお付き合い、築年数が古い物件も多く管理しています。

古い物件は設備も古く、なかなか入居者が決まりませんが、年金生活の高齢者にとっては、希望家賃に見合った物件としてニーズがあります。設備面に関しては、介護保険認定を受けている方であれば、介護保険の住宅改修制度等を活用して手すりを付けたり、和式トイレを様式に変更したりした経験があります。

オーナーの中には、受け入れを渋る方もいらっしゃいますが、公的制度や地域のサービスなどの安心材料を提供して、前向きに検討してもらうように努力しています。

確かに、高齢者へお部屋を紹介する際は、説明や決断に時間がかかったりして手間はかかります。しかし、丁寧に対応することで、信頼関係が生まれ、入居後の対応がしやすくなっています。そして、こうした取り組みがオーナーにも信頼される結果になるものだと考えています。

また、入居後の支援についても、地元不動産店の強みを活かして、地域包括支援センターと連携をとり、入居者にセンターの存在やサービスを受けるための流れなどを説明し、サービス利用に至った方もいらっしゃいます。さらに、週1日、建物の巡回を兼ねて、高齢入居者の様子を見たり、同じ建物の入居者から近況を伺うなどの取組をしています。

最近は、高齢者の他に、生活保護受給者や母子家庭の住まい探しも増えています。様々な状況で住まいを探さなければならない方々、本当に支援が必要な方々には、広くアンテナを張って積極的に支援していきたいと考えています。

私は、所属する神奈川県宅地建物取引業協会の役員としても活動しています。こうした取り組みは、店舗だけで終わらせず、業界全体として考えなければならないと考えており、今後は、業界、行政、地域が連携して取り組んでいけたらと思っています。



『入居者に応じて臨機応変に対応』

株式会社リバティホーム（相模原市中央区）
牛嶋由香里さん

協力店情報

会社名： 株式会社リバティホーム
代表者： 代表取締役 牛嶋正治
所在地： 相模原市中央区中央1-9-14
電話： 042-759-7466
登録年月： 平成24年8月
URL： <http://www.liberty-home.jp/>

元々は、東京都町田市で営業していましたが、12～13年前から相模原市に根付いて営業しています。以前から、自社物件には、高齢者等を受け入れてきましたが、オーナーから預かっている物件にも理解をいただきながら高齢者の入居を支援していこうと考えていた時に、「神奈川県あんしん賃貸支援事業」の存在を知り、登録しました。

当社には、高齢者の他に、子育て世帯の来店・問い合わせが多くあります。登録後は、「市の窓口から情報を知った」という方が多く、中には、既に入居している高齢者からの紹介もありました。

基本的に、緊急時の連絡先があれば、入居を受け入れています。収入の少ない方には、礼金等が少ない物件をご案内したり、万が一に備え、敷金を通常よりも多めにお預かりするなど、その方に合わせて臨機応変に対応しています。

入居者されている方の中には、ご自分から家賃を当社に持参される方もあり、安否確認につながっています。そうした方は、月1回ではなく、近くを通った際にも立ち寄っていただくことも多く、「見守られている」という意識につながっているのだと思います。

また、一人暮らしの高齢者には、オーナーの了解を得て、お部屋に緊急通報ボタンを取り付けた方もいらっしゃいます。

今後も、入居者の身体状況や経済状況をオーナーに丁寧に説明し、どうすればお互いが安心して生活できるかという事を意識して、取り組んでいきたいと考えています。

※ヒアリング中にも、入居者が、ちょっとした手土産を片手に家賃を持参されていました。お店と入居者との良好な関係が伺えました！



『人とのご縁が大切』

有限会社リビングホーム（相模原市緑区）
ホームアドバイザー 井澤清美さん

協力店情報

会社名：有限会社リビングホーム
代表者：代表取締役 加藤勉
所在地：相模原市緑区橋本6-31-17
電話：042-770-6050
登録年月：平成25年1月
URL：<http://www.livinghome.co.jp/>

平成27年5月で開業20周年を迎える弊社では、開業当時から年齢や厳しい条件などをご相談いただきながらご契約、ご入居いただくことを心がけておりました。そして、「神奈川県あんしん賃貸支援事業」は、弊社が行っている事業に近いものがあり、登録させていただいている。登録後は、市や地域包括支援センターから協力店であることで問い合わせや協力要請を多数いただいております。

来店される高齢の方に実際にお会いしてコミュニケーションを取りながら、これから前向きに生活していただけるお手伝いができればと考えております。

また、ご入居後も、物件巡回の際に様子を伺ったり、お留守の時はご連絡を取ったりとコミュニケーションを心がけております。

高齢者がご入居いただいた物件では、ご近所同士の和ができて、お互いに声掛けや見守りが行われるようになり、その結果、住宅の雰囲気も変わり、想像以上の効果が出ております。

私も、入居されている高齢者のお話を聞くことで、今まで知らなかった介護の情報や地域の福祉の情報を得ることが多くあり、勉強させてもらっています。こうした情報を、別の方に提供したりして、接客や管理の「引出し」を増やしています。

これまでの当社の自然体な取り組みがオーナーにも伝わり、理解が進んでいます。先ほど、高齢者の生活態度のお話をしましたが、築年数の古い物件のオーナーなどは、高齢の方に住んでいただけるのであれば、物件の周りや設備などをきれいに保とうという意識が高まり、空き家対策にも繋がっている気がします。

今後も当社では、地域密着の店舗しかできない、入居者とオーナー、地域などの横のつながりを大事にしていきたいと思っています。私自身も、たくさんの入居者や新規のお客様、オーナーとお話をし、いろいろなことを発見し、勉強していきたいと思っています。

金銭的なサービスではなく、“縁”を大事に、人間関係で繋がっていきたいと思っています。



『地域の見守り見える化が必要！』

ウスイホーム株式会社（横須賀市久里浜）
不動産管理部長 山本賢二さん

協力店情報

会社名：ウスイホーム株式会社
代表者：代表取締役社長 木部 浩一
所在地：横須賀市久里浜2-2-3
電話：046-833-7009
登録年月：平成20年12月
URL：<http://www.usui-home.com/>

当社は、横須賀市を中心に近隣市合わせ13店舗で営業し、「神奈川県あんしん賃貸支援事業」には、そのうち9店舗を登録しています。

当社のスタンスとして、以前から高齢者等の入居は自然体で受け入れており、この事業が当社の取組に合っていたことが登録のきっかけです。

高齢者等の問い合わせや来店は以前から多く、最近は、横須賀市内に4か所ある「横須賀市障害者相談サポートセンター」からの紹介も受けています。

全てのお客様に共通しますが、年齢等よりもその方の人柄や印象が入居可否の判断になります。お部屋を紹介して終わりではなく、入居後のお付き合いの方が長いので、ご入居後の生活をイメージしながらお部屋をご案内しています。また、なぜお部屋を探しているのか、お部屋探しに親族が協力的か、ということも重視しています。

高齢の方の入居で懸念される“孤立死、孤独死”が言われていますが、私は、お部屋で亡くなることがリスクではなく、発見が遅れてしまうことがリスクだと考えています。このリスクを少しでも解消するために、早期発見、日常の見守りが必要だと考え、地元の自治会や地域の福祉サービス事業者等との情報共有（情報の見える化）が必要だと感じています。情報の見える化が図れれば、リスクが分散され、リスクの予防にもつながると考えています。

また、当社では高齢者施設やサービス付き高齢者向け住宅等の情報を紹介する部署を設置し、住み替え先のご紹介と今まで住まわれた住宅の売却や活用をワンストップで高齢者の住み替えをサポート積極的に展開しています。

さらに、平成27年4月からは、新たに空き家管理事業にも着手しました。これは、空き家の所有者が遠方に住んでいる場合など、空き家の通風や水出し、庭木の管理などを所有者から受託して実施するものです。今後増えることが懸念されている空き家問題に対して、地元不動産店としてのノウハウを発揮していくと考えています。

今後は、高齢化と空き家の増加で、住宅を取り巻く環境に多くの課題があります。こうした課題を地域と情報共有しながら取り組んでいきたいと考えています。



『長年培ったオーナー・地域との
信頼関係でニーズにあった物件を』

株式会社大雄（平塚市中原）
賃貸事業部 部長 安藤 均さん

協力店情報

会社名： 株式会社大雄
代表者： 代表取締役 山口 紀之
所在地： 平塚市中原1-17-1
電話： 0463-33-8000
登録年月： 平成20年7月
URL： <http://www.daiyu-group.com/>

当社は、地元・平塚で40年以上、地域密着で営業をしており、現在、平塚市を中心に、900件近い物件を約2,000戸管理させていただいている。高齢者や障害者の問い合わせも多く、当社は、健康であれば70歳以上でも、単身の方でも、自然体で入居を支援しています。近年は、オーナーも高齢者等に対する理解も進んでいるように感じられます。

地域密着の営業が実を結び、現在では、地元のオーナーから信頼を受け、当社の判断にお任せいただいているケースも多くあります。さらに、入居後の様々な生活支援も、警察等のセーフティネットや各種ライフラインとの連携も図ることができておらず、入居後の万が一の場面でもスムーズに対応することができています。

また、当社では、賃貸住宅（アパート）の構造が高齢者や障害者の身体機能に合っていないという問題意識から、11年前に「シニアホーム・シリーズ」というバリアフリー設備の整った戸建借家を17棟建設しました。どの物件も2DKで家賃は75,000円程度。車イスでも回遊できるような部屋の配置、浴室で倒れた場合でも、浴室の扉が取り外せるような工夫がされています。また、希望者には緊急通報システムが利用できるように設備を整えています。現在は、高齢者夫婦や障害者世帯、高齢の親と介護しているお子様などの世帯に入居いただき、お陰様で、全棟満室となっています。当初は賃貸住宅からの転居を想定しましたが、持家の方からの住み替えもあり、ニーズの高さを発見しました。

平塚市は外国人世帯も多く住んでおり、市内の県営住宅からの住み替えや同郷の住民からの紹介等で、外国人の住まい探しを支援する機会も多くあります。当社は、外国人世帯の入居を支援している「(NPO)かながわ外国人すまいサポートセンター」の協力店にもなっており、同センターと情報共有しながら対応を図っています。

障害者に関しては、昨年11月に平塚市で初となる知的障害者のグループホームを建設しました。日中は近隣の作業所へ通い、平日は同ホームで共同生活をする（週末は自宅へ）という、自立を目指す施設です。

高齢の方や障害のある方と住まい探しで接していると、介護保険サービスや障害者サービスを受ければ生活がもう少し楽になるのに、と思うことが多くあります。今後は、こうした方々に、我々不動産店も少しアンテナを広げて、お客様に行政情報や福祉の情報を提供できるようになればと良いと思います。



大雄建設「シニアホーム」パンフレットから抜粋

『寄り添う姿勢でじっくりと対応』

万力住販株式会社（小田原市堀ノ内）
代表取締役 遠山しおみさん

協力店情報

会社名：万力住販株式会社
代表者：代表取締役 遠山しおみ
所在地：小田原市堀ノ内331
電話：0465-37-3719
登録年月：平成20年10月
URL：<http://manriki-jyuuhan.jimdo.com/>

当社は、昭和55年の創業以来、地元密着で不動産の仲介や管理、リフォームを通じて地域の住まいづくりに貢献してまいりました。

神奈川県あんしん賃貸支援事業を知ったのは、保証人の確保が難しい高齢のお客様が来店した際に、（一財）高齢者住宅財団の『家賃債務保証制度』を活用しようと、いろいろと情報収集しているときに、たまたま見つけ、当社の活動に沿っているということで、登録しました。

これまで、分け隔てなく高齢の方も障害のある方もお部屋探しをお手伝いしてきましたので、当社の取組に沿った制度だったことから、登録させていただきました。

以前から高齢者からの問い合わせは受けしていましたが、登録をしてからは市役所等の行政機関で情報を見られて問い合わせや来店される方が増えています。些細なことですが、当社の情報網が多くの方に目が留まるようになったのは大きなメリットだと考えています。

しかし、高齢者や障害のある方の問い合わせが増えてても、100%希望に沿える設備が整った住宅を紹介することは困難です。当社では、日ごろから、女性ならではの生活を重視した視点で、“じっくりお話を聞く”というスタンスで、お客様と接してきました。このような姿勢で、お客様の事情を理解し、希望に沿えない部分をどのように工夫して快適にしていくか、ということをお客様と一緒にお話をしながら解決しています。こうしたところが、高齢の方々には安心を感じていただいているのではないかと思っています。

入居後も、管理物件であれば、定期的に月数回の建物巡回の際に、生活状況の見守りをしたり、お会いできればお話をしたりしています。また、オーナーと管理契約を結んでいない物件であっても、お世話をした高齢者等が住んでいれば、近くへ寄った際は、極力見回るように工夫しています。

また、高齢者等への入居に消極的なオーナーに対しても、これから高齢化や空き家対策という視点から、必要性を強調して、受け入れを検討してもらっています。

今後も、地元密着という強みを活かして、住まいをお探しの方や物件にお住まいの方と寄り添って、地域貢献していくべきと考えています。



『センターを活用して見守り！』

有限会社MYJホーム（大和市中央林間）
代表取締役 宮路常幸さん

協力店情報

会社名：有限会社MYJホーム
代表者：代表取締役 宮路常幸
所在地：大和市中央林間2-11-6
電話：046-271-2020
登録年月：平成23年6月
URL：<http://www.myj.co.jp/>

当社は、本事業登録以前から、来るべき高齢社会に備え、高齢者の方の入居を前向きに考え、他の入居希望者と同じように、分け隔てなく対応してきました。

特に、物件に入居している高齢者には、地域で活動しているケアマネジャーの情報を提供し、要介護認定を受ける前であっても、入居者とケアマネジャー双方にお互いの存在を認知してもらうよう呼びかけたり、入居者が入院すると、入院先のケースワーカーを訪問したり、地元密着の強みを生かして、地道に、医療・福祉関係者との人間関係を構築してきました。

こうした活動から、最近はケアマネジャーから入居者の様子の変化について連絡をいたしました。

現在、当社が力を入れていることは、住戸内にセンサーを活用した入居者の見守りです。平成26年10月から自社物件をきっかけに、試験的に実施、検証しているところです。

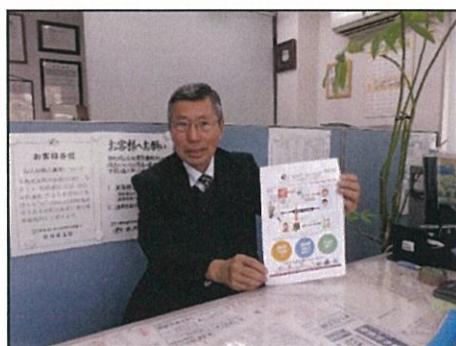
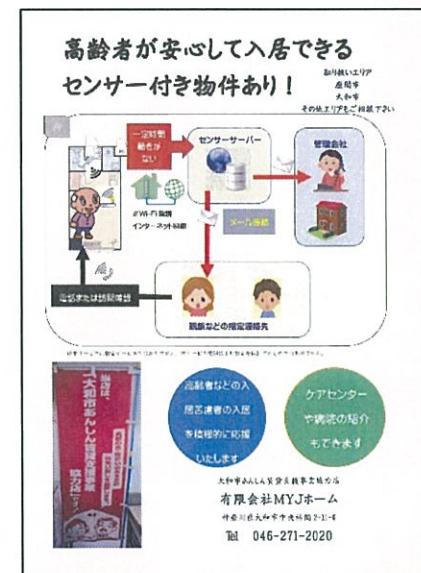
具体的には、トイレのドアにセンサーを取り付け、24時間ドアの開閉が無かった場合に、親族と当社にメールで連絡が入る仕組みです。

導入のきっかけは、オーナーの中には、居室内事故を心配することで高齢者の入居になかなか前向きになれない方が多いことや、実際に前日まで元気だった入居者が、翌日、突然脳梗塞で倒れてしまつた事例を経験し、毎日の見守りの必要性を痛感したことからです。

導入して約半年になりますが、先日、導入した住戸に入居している70歳代の方が、脳梗塞で室内で倒れ、24時間トイレの出入りがなかったため、緊急連絡が作動して親族と担当ケアマネジャーが駆けつけるケースがありました。

幸い命には別条なく、現在入院中で退院も近いと聞いています。退院後は、介護保険制度の住宅改修費助成を活用して住戸内に手すり等を設置してあげようと考えています。

このように、システムの有効性が体験できたことから、今後は、この経験とこれまでの地域密着の強みを生かし、他の管理物件やお付き合いのあるオーナーへ導入を働きかけ、高齢者の入居支援を強化していくことを思っています。



『生活支援のNPOと連携 空き家管理にも取り組む!』

株式会社プライム（座間市相模が丘）
代表取締役 石塚 恵 さん

協力店情報

会社名： 株式会社プライム
代表者： 代表取締役 石塚 恵
所在地： 座間市相模が丘4-42-20
電話： 046-259-9714
登録年月： 平成24年9月
URL： <http://prime-2421.co.jp/>

神奈川県あんしん賃貸支援事業には、平成24年に会社設立当初から登録しています。神奈川県居住支援協議会のホームページを見て、登録をしたのがきっかけだったと記憶しています。

当社には、週1件くらいのペースで高齢者等からお問い合わせがあります。問い合わせは、役所に配布されているチラシ等を見たというもののや、居住支援協議会のホームページを見た方が多くいらっしゃいます。当社は、基本的に高齢者や障害者であっても、門前払いしていません。生活保護受給者も多く来店し、お部屋をご案内しています。

もともと私は、会社設立の数年前から高齢者の生活支援に関するNPO法人（NPO法人ワンエイド）を立ち上げ、現在も高齢の方の家事援助や送迎、話し相手等の事業を行っています。当社の設立にあたり、こうした事業を不動産業でも生かせないかと考え、高齢の入居者には、NPOの事業を紹介し、組み入れながら、安心して生活してもらっています。

座間市を中心に、地域密着で目の行き届く範囲内で物件を管理していますので、入居者とのコミュニケーションもとり易く、高齢で一人暮らしの入居者さんは、買い物帰りなどに気軽にお店に顔を出したり、おしゃべりをしに来店されています。高齢者や障害のある方は、生活マナーも良く、安心して住まいをご提供できると感じています。

また、お付き合いさせていただいているオーナーのほとんどが、高齢者等の受け入れに理解をしています。躊躇されるオーナーには、当社が一括借り上げで管理させていただくことを提案しています。オーナーの中には、高齢者や障害者が入居した部屋で、事故があった場合の次の募集を心配する方がいらっしゃいますが、当社で高齢者を接客している限りでは、事件や自殺でなければ、気にしない方が多いです。若い方に比べて、お部屋で亡くなるということを主観的に考えているのかもしれませんと感じています。

今後は、既に入居されている方や当社の管理物件に入居する方が、元気に長く住み続けていただくために、前述のNPOの活動を連携させて、入居から生活支援までトータルで継続的にサービス

を提供できたら良いな、と思っています。それから、最近、空き家の所有者に対して、空き家の換気や室内点検、清掃などを盛り込んだ「空き家お助けプラン」を創設して、新たな取り組みも始めました。

地域に根差して、安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいきたいと思います。



神奈川県居住支援協議会について

神奈川県では、高齢化や経済情勢の低迷などにより住宅を確保するために支援が必要な方（住宅確保要配慮者※1）が増加していることから、その居住の安定確保を図るために、住宅セーフティネット法（※2）第10条に基づく「神奈川県居住支援協議会」を平成22年11月24日に設立し、居住支援部会及び団地再生部会を設置しました。

- ※1 住宅確保要配慮者：低額所得者、被災者、高齢者、子育て世帯、外国籍県民その他住宅の確保に特に配慮を要する者
※2 住宅セーフティネット法：住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律（H19.7.6 法律第112号）の通称

1 設立の目的

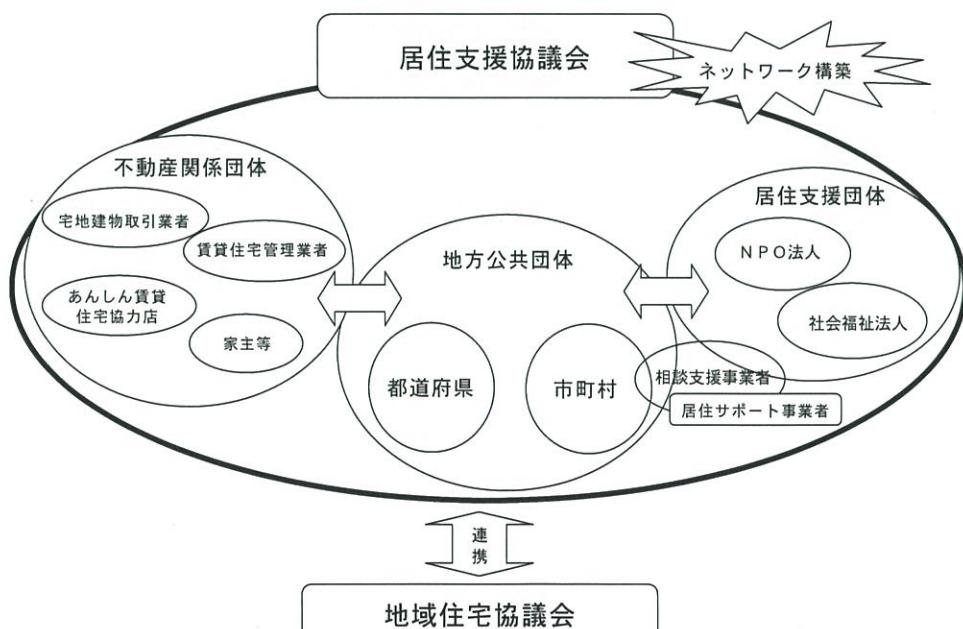
住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居や供給の促進、その他必要な措置について協議・実施することにより、神奈川県における福祉の向上と豊かで住みやすい地域づくりに寄与すること。

2 構成員（※詳細は裏面参照）

- (1) 県、政令市、中核市、特例市
- (2) 宅地建物の取引や賃貸住宅を管理する団体
- (3) 居住支援等を行う団体
- (4) 賃貸住宅を供給する団体

3 協議内容

- (1) 住宅確保要配慮者又は民間賃貸住宅のオーナーに対する情報の提供等に関すること
- (2) 住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進および居住の安定方策に関すること
- (3) 支援施設の併設等を含めた賃貸住宅の供給の促進及び住宅団地の再生に関すること
- (4) その他目的達成のために必要な事業



<構成員>

区分	会員
宅地建物取引業者（4）	公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会 公益社団法人 全日本不動産協会神奈川県本部 公益財団法人 日本賃貸住宅管理協会神奈川県支部 一般社団法人 不動産流通経営協会
賃貸住宅事業者（5）	神奈川県住宅供給公社 横浜市住宅供給公社 川崎市住宅供給公社 独立行政法人 都市再生機構神奈川地域支社 一般財団法人 サービス付き高齢者向け住宅協会
居住支援団体（5）	公益社団法人 かながわ住まいまちづくり協会 NPO法人 かながわ外国人すまいサポートセンター 一般社団法人 かながわ土地建物保全協会 社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会 一般財団法人 高齢者住宅財団
市（9）	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、 小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市
神奈川県（13）	国際課、生活援護課、地域福祉課、次世代育成課、 子ども家庭課、障害福祉課、高齢社会課、高齢施設課、 介護保険課、雇用対策課、住宅計画課、公共住宅課、 建築指導課

神奈川県あんしん賃貸支援事業協力店 取組事例集

発行日 平成27年3月

発行者 神奈川県居住支援協議会・居住支援部会